

	所在地	申請主体 (代表者名)	テーマ
			事業の内容
1	津市	みえもん	「みえもん」ブランドによる三重県の「もの・ひと・こと」の6次産業事業化プラン
		大森 尚子	県内林業経営を圧迫する未利用材を活用した加工品を独自の統一理念でセレクトし、デザイン力と「もの・ひと・こと」の情報発信で付加価値を高めて販売までの包括的な事業化を行う。林業をはじめ、一次産業全般の六次産業化に取り組む。
2	松阪市	下出木材	松阪地域産「桧」を使った自主製品を開発・販売する地域林業関係者活性化プラン
		下出 修	疲へいしている地域の林業を活性化させるために、松阪地域の桧を使って「ペットサークル」「腰板」「犬小屋」などを、地元の建具屋や大工と協力し、商品化を行う。そして、直接消費者への販売を行いながらホームページを活用して全国販売に取り組む。
3	多気郡 多気町	有限会社すかや呉服店	伝統工芸と相可高校のアイデアを活用した新ブランド「伊勢型もめん」開発プラン
		綾野 寿昭	地元の伊勢茶を染料に用い、地元の学生やデザイナーの柔軟な発想を商品開発に取り入れ、かつ三重県の伝統産業である伊勢木綿に伊勢型紙の手法を融合させた新ブランド「伊勢型もめん」の商品開発・販売に取り組む。
4	多気郡 大台町	株式会社丸八土建	三重県の特産品「伊勢茶」を配合した美容パックを製造販売する地域資源活用プラン
		橋本 智弥	女性の能力活用の取組が評価され、平成21年度「男女がいきいきと働いている企業」県知事表彰を受賞したのを機に、ポジティブアクションの一環として女性社員のみの部署を発足し、地元特産品「大台茶」を配合した美容パックの製造・販売により地域の活性化に取り組む。
5	北牟婁郡 紀北町	株式会社元気	地産生梅の新商品「熟成無塩黒うめ」開発プラン ~ 地域連携で東紀州ブランド化 ~
		濱野 濱助	熟成醗酵技術を東紀州産生梅に活用して新商品「熟成無塩黒うめ」の開発に成功。今後は中高年齢層や女性、熊野古道客等の健康ニーズに応えながら地域の連携により東紀州のブランド化に取り組む。

	所在地	申請主体 (代表者名)	テーマ
			事業の内容
6	北牟婁郡 紀北町	有限会社ヤマショー	未利用魚・低利用魚オキグスを活用した新名物「きぼく魚(ぎょ)ーザ」の開発プラン
		服部 正孝	魚の調理方法を独自に提案し商品価値を高め、地域のサポートにより魚肉加工品「餃子」の連携開発を行う。漁業者が抱えてきた未利用魚や低利用魚の有効利用の課題をビジネス機会と捉え、新商品の開発と新たな需要創造に取り組む。
7	尾鷲市	株式会社熊野古道おわせ	おわせひのき間伐材の利用促進と世界遺産熊野古道を活用した活性化プラン
		土井 八郎兵衛	尾鷲ひのきの間伐材を使った「熊野古道の森からのおくりものシリーズ」のブランド化と販路拡大により、林業関係者への還元を行いながら、全国各地で世界遺産熊野古道をPRできる仕組み形成に取り組む。
8	熊野市	熊野市観光協会	熊野大花火オフィシャル商品の開発プラン
		宮原 秀雄	熊野大花火の全国的な知名度を活かしたオフィシャル商品作りを地域の他業種の事業者が連携して行う。これにより通年販売可能な名物土産物として売り出すことで、新たな事業展開を提示し地域内での地域資源活用の気運高揚に取り組む。
9	熊野市	森本魚店	熊野のさかな屋が作る今までにない常温で日持ちが効く商品の開発プラン
		森本 政伸	さかな屋が異業種と連携し、熊野で獲れる魚(サンマ等)を利用して、これまでになかった常温で日持ちが効く加工品の開発を行い、地域に異業種連携や新分野進出の気運高揚に取り組む。
10	南牟婁郡 御浜町	有限会社梅屋ファーム	御浜町の自社農園で栽培した南高梅を活用した「種ぬき干し梅」の製造・販売プラン
		金子 貴由紀	干し梅は中国産の商品が多く、国産でかつ「南高梅」を活用した「干し梅」は希少価値があり特産品となり得るため、御浜町の自社農園で栽培した南高梅を活用して、ドライフルーツ・御菓子という新たな分野の「種ぬき干し梅」の開発・製造・販売に取り組む。